

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0892500075		
法人名	株式会社 ライフケアサービス		
事業所名	グループホーム 喜楽	ユニット名	
所在地	〒311-4615 茨城県常陸大宮市下伊勢畑948-8		
自己評価作成日	平成26年4月10日	評価結果 市町村受理日	平成26年12月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kihon=true&JigyosyoCd=0892500075-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年4月24日	評価機関 決 済 日	平成26年9月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

1ユニットの少人数の施設ではありますが、一人ひとりに暖かく手を添え、お話もゆっくりと沢山でき、笑顔の耐えない日々を過ごしております。プライバシーは守りながらも家族のように自然に気取らずに接し、職員も入所者様も元気・笑顔いっぱいです。施設は静か環境で四季折々が楽しめる自然の優雅さがある所です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所是那珂川近くの山間に立地し、自然の移ろいを感じながらゆったりと過ごせる環境となっている。
管理者と職員は「地域との交流を大切にするとともに、職員と利用者は笑顔と信頼感を大事にし、利用者の残存能力を活用、活性化させ生活が自立する」との理念の基に支援をしている。
事業所は自治会に加入し、回覧板を回すとともに、草刈りや雪はねなどの活動に地域の一員として参加している。
居間兼食堂の共用空間はコンパクトな造りとなっているが、明るく清潔に保たれ、季節の花を飾ったり、利用者と一緒に制作した作品や行事の写真を掲示したりして五感への働きや生活感を取り入れている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全員が理解できるよう理念を壁に貼り出している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を職員で話し合っ作成している。 居間兼食堂に理念を掲示して職員で共有するとともに、地域との交流を大切にしながら、職員と利用者は笑顔と信頼感を大事にし、利用者の残存機能を活性化させて生活が自立するよう援助している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭り、クリーン作戦等に参加している。地域の商店を入居者様と共に利用している。	自治会に加入し、回覧板を回すとともに、草刈りや雪かきなどの活動に地域の一員として参加している。 地域の老人会や保育所の子ども達の訪問を受け入れたり、利用者の散歩時に近隣の住民と挨拶を交わしたり、草花や野菜のお裾分けを頂いたりして地域住民と日常的に交流ができるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	取り組みはしていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様の御家族、また近隣の方々からのご意見ご要望を聞くことができる。	運営推進会議を開催するまでには至っていない。	運営推進会議は、利用者や利用者の家族等、地域住民の代表、市職員又は地域包括支援センター職員等で2ヶ月に1回は開催し、参加者との話し合いや協力を得ながら意見等をサービスの質の向上に活かすことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護高齢課と連絡を行い、介護認定更新手続きや空室状況を提供連絡している。	職員は必要に応じて介護高齢課を訪れ、空き室状況の報告や要介護認定更新手続きを行い、市担当者と協力関係を築くようにしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の行動を理解した上でケアをおこなっている。	職員は身体拘束とその弊害を理解し、身体拘束をしないケアの実践に取り組むとともに、玄関や居室も施錠をしていない。身体拘束排除マニュアルを作成しているが、勉強会や研修会を開催するまでには至っていない。	現在、身体拘束の対象者はいないが、今後利用者の状態等が変化することを考慮して定期的に勉強会や研修会を開催し、職員のスキルアップを図ることを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士で虐待行為が行われていないかどうか日々確認話あっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対応が必要な時に支援できる体制が万全ではない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、その上疑問等を確認し、理解・納得をいただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にお話をお伺いし意見要望を聞いている。	玄関に意見箱を設置するとともに利用者からは日常のふれあいの中から、家族等からは面会等での来訪時に意見や要望を聞くようにしているが、率直な意見や要望を得るまでには至っていない。	意見や要望を言い出し難い家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施し、結果を職員で話し合うとともに家族等に公開し、運営に反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からコミュニケーションをほかり意見交換をし、運営に反映させている。	管理者は業務中や申し送り時など、折にふれて時間をつくり、職員の意見や提案等を聞くとともに、必要に応じて代表者に伝え、対応を伺いながら職員の意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成時は一人ひとりの希望休を確認し、また再度確認納得の上作成している。個々の好い所が生かされるような責任を持ったやりがいができるよう配慮し合い声掛け合い行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の案内等の回覧をし案内をしている。希望があった際はシフトの調整を行い参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交流は大切であり研修会に参加しすすんで取り組んで行きたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に本人の希望、不安を聞き本人の気持ちを受け止めるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯や思い・不安、また要望を聞き入れ、気持ちを受け止めるようにしている。どんな小さな事でも相談して頂ける様に信頼関係につとめている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービス利用に取り組み努力している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	年々職員の年齢も若くなりつつある状況ですが、先人である入所者様の知恵袋等、新鮮に受け止め共栄共存している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の様子、職員からの思いを伝え、本人を支える為の御家族と同じような思いで支援している事をつたえている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	兄弟食事会へ外出やお墓参りや家族との外出お泊りなど本人の気持ちを尊重し、家族と連絡をとり進んでお出掛けして頂く様にしている。	職員は利用者のこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所の把握に努めている。家族等や親戚、併設する通所介護施設を利用しての知人などの来訪がある。利用者が親戚を訪問したり、墓参りや外泊を家族等と一緒にできるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自分の好きな趣味などやりながらも、お互いのものを褒めあいながら、いろんなことに興味を持ち楽しく時間を過ごしている。職員は声かけ、時には参加しながら利用者様とともに支え合い褒めあっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	たまにお会いしたりし、お話を聞いたり相談に応じている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人への問いかけをまめに行い本人の意思確認をしている。またそれと同時に顔の表情・仕草など微々さいに観測し、把握に努めている。	職員は利用者と日常の係わりの中で、会話や表情などから思いや意向の把握に努めている。 把握が困難な利用者の場合は家族等から意見等を聞いたり、職員で話し合ったりして利用者本位に支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時面談にていままでの生活状況を聞きこれまで送られてきた生活暮らしぶりの把握につとめている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを理解し、出来ることに注目し同時にその日の気分をよみ理解し全体の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様のお気持ち思い意見等を聞き反映し介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等、職員の意見を聞き、計画作成担当者が作成している。 介護計画は設定期間毎に見直すほか、利用者の状態に変化が生じた場合には、現状に即した介護計画に見直しをしているが、介護計画にそったモニタリングや記録を残すまでには至っていない。	介護計画にそったモニタリングを行い、記録に残すとともに、評価結果を次の介護計画に反映させることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の暮らしの様子や本人の言葉等気付いた事を記録し職員全員が把握し活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて通院などの支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心して地域で暮らせるよう、地域の皆様初め区長、駐在、消防機関、市役所等連携をとり支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には家族対応となっておりますが、不可能の場合は職員が代行を行っている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 かかりつけ医への受診は家族等に対応してもらうことを基本としているが、状況に応じて職員が通院支援をしている。 家族等から聞いた受診結果は通院記録に記載し、職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員はおりません。その状況に応じて対応しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は本人に関する情報を提供している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と話し合いの上、医療行為が必要な時は病院、その後は経過ごとに対応している。看取りにかんしては今後順おって御家族と十分話し合いながら同意を得ていく方向であります。	前回の外部評価結果を受け、利用者が重度化した場合や終末期の対応方針を作成し、事業所では対応できないことを利用契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作成し設置し職員は把握してもらっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員全員参加の上、避難訓練をおこなっている。	年1回火災を想定した避難訓練を実施しているが、夜間を想定した訓練や地域住民の参加を得るまでには至っていない。 避難訓練の実施記録を作成しているが、訓練で得た課題の改善に向けての話し合いを行うまでには至っていない。 災害の発生に備えて飲料水や食糧を備蓄している。	避難訓練は年2回以上実施するとともに、うち1回は夜間を想定した訓練を実施することを期待する。 運営推進会議や自治会の回覧などを利用し、地域住民への参加を呼びかけ、協力体制を築くことを期待する。 避難訓練で明らかになった課題の改善に向けて、職員で話し合うことが望まれる。 災害の発生に備えた備蓄品については、保管リストを作成するとともに、適切に管理をすることが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけに気を付けている。	職員は利用者の人格を尊重し話をする時には「○○さん」と呼びかけるとともに、トイレ誘導時には周囲に聞こえないように声をかけるなど、利用者の恥辱心に配慮した対応に努めている。 利用者の個人記録等の書類は、事務室の鍵のかかるロッカーに保管し、責任ある取り扱いと管理をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に決定をゆだね、意思表示が上手に出来ない方でも表情や動きなどから希望を把握するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服など選ぶ際に本人の好みを選んでもらっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お野菜等の下ごしらえをしたり食事の準備や後片付けを負担のかからないように配慮し一緒に行っている。	職員は利用者それぞれの好みのメニューを把握している。 利用者は能力に応じてテーブル拭きや下膳、食器拭きなどを職員と一緒にしている。 職員は利用者と同じテーブルに着き、食事介助や見守りをしながら一緒に食事をしている。 正月や雛祭り、敬老の日、クリスマスなどの行事食、誕生会のケーキや紅茶、ドライブを兼ねた外出時の弁当やアイスクリームを食べることも利用者の楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量、水分量を毎日記録し職員間で情報を共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き入れ歯のお手入れなど声かけを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日常の様子を観察し、声かけを行っている。	排泄チェック表で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、パターンに応じて声かけや誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援をしている。 夜間は自室でポータブルトイレを使用しながら失禁の予防や排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録表に記入し把握し、便秘を改善するよう水分補給や適度の運動・お腹のマッサージなどをおこなっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日を決め入浴している。但し、利用者様の通院などの都合でその日・時間に出来ない場合はその都度対応している。また、季節感のあるもの、色や香りを楽しめるよう入浴剤を入れたりする。	週2回午後の時間帯に入浴ができるよう支援するとともに、利用者の希望などを聞いて個々の対応もしている。 利用者は全員入浴を楽しみとしており、現在入浴を拒む方はいない。 季節毎に柚子湯や菖蒲湯を取り入れているほか、市販の入浴剤を利用し、入浴が楽しめるよう工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを大切にし、体調に合わせて好きな時に休めるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をまとめファイリングし職員誰もが把握できるようになっている。また、きちんと服用しているか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意なことを把握し、お願いをして出来ることを支援しながら楽しくやっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	車でドライブや近隣へのお散歩をしている。	職員は利用者の体調に配慮しながら、近隣への散歩や買い物に出かけられるよう支援している。 季節に応じて桜やバラ、紫陽花等の花見や外食などのドライブを兼ねた外出も利用者の楽しみとなっている。 家族等の協力を得て墓参りや外泊ができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設側で個々の金銭を預かり金として、保管管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでもかけられるようにプライバシーを配慮し自室にて使用している。ハガキ・お手紙は自由にかいている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の飾り付けをし、テレビの音量など不快にならないよう配慮し、施設内の温度設定にも日々配慮している。	居間兼食堂は明るく清潔に保たれ、職員は季節の花を飾ったり、利用者と一緒に制作した作品や行事の写真を掲示したりして五感への働きや生活感を取り入れ、居心地よく過ごせるような空間づくりをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたり、お話を出来るスペースを提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にそれまで使用していた身の回り品を持参して頂いております。御家族の方にも協力して頂いております。	居室はベッドやクローゼット、整理箆、エアコンが備え付けられている。 利用者は家族等と相談し、居室に使い慣れた寝具や衣装ケース、座布団、椅子、テレビなどを持ち込むとともに、家族等と写した写真や時計、日用品など馴染みの物品や、自分で作った手芸品や折り紙作品、小物等を置き、居心地よく暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口に名札を設け、本人のわかりやすい物など利用者様の意見や状況に応じて対応しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 喜楽

作成日 平成26年12月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取組	2ヶ月に1回	市役所の方や地域の区長様、民生委員様等に協力を得ながらサービスの向上に向け会議を行う	27年度
2	6	身体拘束をしないケアの実践	職員の勉強会・研修	職員のミーティングを始めマニュアルを作成し勉強会を行い理解を深めていく	27年度
3	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族へのアンケートの実施	家族の方へ無記名アンケートを行い、結果をまとめた上、ミーティングを行い更にまとめた結果を家族等に公開する	27年度
4	26	チームで作る介護計画とモニタリング	モニタリングシートへの詳細な記入	モニタリングシートへの記入徹底し、次の介護計画にいかすようにする	27年度
5	35	災害対策	避難訓練を年2回行う	避難訓練2回の内1回は夜間想定で行う。 備蓄品は保管リストの定期チェックをし管理をする	27年度

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。